



十日町 Tokamachi

# 市議会だより

市民と議会の  
ネットワーク

平成21年7月25日発行

■発行 十日町市議会 十日町市千歳町3丁目3番地 TEL.025-757-3111 FAX.025-757-5999  
E-mail : t-gikai@city.tokamachi.lg.jp TEL.025-757-3119 (直通)

■編集 議会だより編集委員会

## No.19

### ◆一般質問15人

— 新市長に問う。政治姿勢・重点施策 —

### ◆会派活動方針紹介

— 会派通信 活動方針・重点取り組み等 —



じょうもん市2009 しんまち 中条下町町内が作った“縄文のれん”

### 今号の内容

▶ 一般質問 ..... 2~7

▶ 議会人事 ..... 7

▶ 一般会計補正予算・主な事業 ..... 8

▶ 議決結果 ..... 9

▶ 常任委員会審査結果 ..... 10

▶ 会派通信 ..... 10~11

▶ 議会日誌 ..... 12

▶ 議会レポート ..... 12

▶ 永年勤続表彰 ..... 12



6月5日、6月定例会が招集され、6月12日までの8日間にわたり開催されました。

監査委員及び公平委員会委員の選任、物品購入および工事委託契約の締結、字の変更、辺地総合整備計画の策定、各種条例一部改正、規約の変更、平成21年度の一般会計と6つの特別会計及び水道事業会計の補正予算などが提案、審議されました。

一般質問では15人の議員から市政についての質問がありました。

(一般質問については、紙面の都合上要旨を掲載しています。)

### 行財政改革と

#### まちづくりについて

小林正夫 議員

**質問1** 職員のやる気が出るよう職場の雰囲気を変え、毎日の仕事が楽しく、面白いという意識改革をしていくことが、市民のために働く集団をつくることにつながる、元気なまちづくりを進めると思う。全職員の勤務実態や超過勤務手当を調査、見直しを進める中から、コスト削減を図り、その財源を市民の生

活に生かし、子供やお年寄り、特に障がいのある人達への支援が出来ないか、②また「市民の皆様へ」といった宣誓看板を市役所や支所に掲げ職員の意識と自覚を促してはどうか。  
**答弁1** 来年度から部制を導入し、政策の一貫性と企画力を高めたいと考えております。また人事考課制度を見直し、頑張りやチャレンジを促し、的確に評価し、やる気や自信の醸成を図ってまいりたいとも考えております。職員研修では、自ら、能力や知識を高めるための機会を

積極的に与え、変革に対応できる創造的な意識や戦略的能力を高め、高度な専門知識を持ったスペシャリスト育成に努めてまいります。出来る事から早く取り組み、地域間競争に勝てる人材と組織体制をつくってまいりたいと考えております。

本市の超過勤務時間は県内でも上位であり、目標を設定する中でしっかりと削減するよう指示を出しております。

②そういった姿勢を明確に表示することは、非常に大きな効果があると思いますので、検討して早急に実施したいと考えます。入った瞬間にその雰囲気がかかるわけであり、また玄関を入ったところでご案内する係の設置を早期に実現してまいりたいと考えております。

### 市長の基本的政治姿勢・病院問題への対応

山賀子平 議員

**質問1** スローガンは当事者の政治姿勢の根幹と考える。

政治には他人への思いやりが必要。「これでいゃんか!」を採用した市長の真意を伺う。

**答弁1** 今の十日町市を変えた

いという多くの市民の思いを表したものであると理解しております。この言葉は、十日町市を何とかしなければという強い思いの表れとご理解いただければと思います。



市長施政方針演説

ご労苦には敬意を表します。県との協議の中でさらに検討を深めてまいりたいと思っております。

②今の県の基本的方針は、報告書作成時とは異なってきていると感じております。

③合併により不採算地区病院の要件は欠くことになりましたが、山間豪雪地の地理的条件が変わったわけではなく、県が関わった病院として存続するよう、今後ともしっかりと県と協議してまいりたいと考えております。

④松代病院のあり方について非常に示唆に富んだものと考えており、報告書にも反映されていると理解しております。大事なポイントとして県との協議をしてまいりたいと思えます。

### 観光と環境の連携

太田祐子 議員

**質問1** ①「千客万来」「怒涛のごとく十日町に人々が押し寄せる」具体的な戦略について伺う。②観光と環境の連携強化が重要ですが、協働体制の構築と指針の作成について伺う。③郷土に誇りを持ち自らも参加する手段として「十日町市認定・検

**質問2** ①十日町病院等の医療提供体制に関する検討会の報告書の位置づけと認識について。  
②平成17年3月の県立病院改革の報告書が病院問題の原点と考える。十日町病院の早期改築の手順について。③松代病院前院長提言の松代地域医療センター病院構想の認識について。  
④提言を元に県との協議を望むが市長の考えについて伺う。  
**答弁2** ①十日町圏域の将来の医療需要なども勘案してまとめたものであり、その

定制度」の早期実施について伺う。④エネルギーや資源、廃棄物の抑制を目指した「エコ・イベント」推進を図るために、誰もがわかる「エコ・イベント」エックシート」の導入を提案します。

**答弁1** ①市を元気にするためには、観光誘客による外貨を獲得し、それを地域で循環させる事が大事であります。素晴らしき観光資源にさらに磨きをかけ、新たな観光資源発掘を進め、それを外に向かつてしっかりと発信していくことが大切であります。現在実施しているイベントや農業体験事業等を格段に充実させ、地域ブランドづくりに力をいれてまいりたいと思っております。これを一年限りに終わらせることなく、市内二次交通の整備や観光ルート、受入企画を実施し、来年度以降も観光客受入につなげていきたいと思っております。②環境要素が観光資源の源泉になっており、その保全取組みが不可欠と思っております。大変重要な視点と考えますので、環境面に配慮しながら進めてまいりたいと思えます。③現在どのような制度が良いか、観光協会を始めとして関係者と検討しているところであり、しばらくお

待ちいただきたいと思えます。④お題目だけでなく、具体的な行動が必要と思えますので、作らせていただく中で、前向きに職員の啓発をしてみたいと思えます。

## 人にやさしいまちづくりについて

羽鳥輝子 議員

**質問1** 子育て支援について、①保育所の民営化について、②小中一貫教育について伺う。

**答弁1** ①保育士配置基準は公立も私立も同じでありますので、民営化されてもサービスの質が低下するとは限りません。また全てを民営化との考えはなく、気になる子、手のかかる子などは公立で責任を持って対応していかなければならぬと考えております。

②小学校から中学校へ子供がスムーズに移行できるよう連携をより強化していく必要があり、モデル事業の取り組みを考えております。今年3月に学区検討委員会がまとめた十日町市の望ましい教育環境に関する提言を踏まえた方針案を7月中に定め、説明会等を開催し、考え方を提

案してまいりたいと思えます。**質問2** 高齢者支援について、各地域の遊休施設を小規模多機能なグループホームなど、運営を含めた利活用をどのように推進していくのか考えを伺う。

**答弁2** 地域にある資源を無駄にすることなく、有効活用していきたいと思っております。利用申し出の際は、積極的に対応してまいりたいと思えます。また土地についても有効利用の方向で考えてまいります。



グループホームしんざい

**質問3** 障がい者支援についての市長の取り組みを伺う。

**答弁3** 障がいのある方や高齢者に優しいまちづくりにしたいと強く思っております。障がいのある方にできる仕事をさらに

増やして生活を支援することを市が率先して取り組み、出来る事から実践してまいります。施設整備につきましても社会福祉法人等において促進してまいりたいと考えております。

## 市総合計画・農業の振興支援と雪対策

村山邦一 議員

**質問1** 市行政運営の最上位計画である総合計画は、合併時に決められた新市建設計画の財源財政計画についてどのように実施されていくのか伺う。

**答弁1** 新市建設計画記載の投資的事業は124事業で750億円。現在66事業が着手済みであります。長期財政計画の縮小や新過疎法成立の見直しなどから、計画自体の見直しが必要であります。毎年のいろいろな情勢変化をしっかりと調整する中で、長期財政計画を策定してまいりたいと考えております。

**質問2** 米を輸入しながらの減反政策や、画一的な大規模農家育成や効率化、市場原理中心の農政では、後継者がなく耕作放棄地増や集落維持困難となる等深刻である。農業振興をどのよ

うに認識し、対応支援するのか。**答弁2** 小規模でも懸命に取り組んでおられる農家の皆様が、今後も地域や集落にあつて活躍できるように兼業機会の拡大などについて検討を進め、今まで頑張つてよかつたと言えるような農政を展開してまいりたいと思っております。

**質問3** ①市道除雪の住民負担の無料化について伺うと共に②保安要員の充実を要望する。

**答弁3** ①合併協議では、認定道路分の住民負担は原則として求めないとしております。個人に起因する除雪の負担方法につきましては、市民代表を含めた検討委員会を設置し、21度末を目途に方向性を出したいと考えております。②今年度大幅な制度の再構築があり、市としましては、関係各課の連携を基本にしっかりと取り組み、制度の充実、財源拡充につかましても強く要望してまいります。

## 子育て・交通事故・女性特有のガン対策

宮沢幸子 議員

**質問1** 市長の公約である、義務教育機関中の通院医療費の無

料化や、一人親子育て世帯への助成拡大などの子育て支援は、いつを目的に実現が出来るのか、また子育てに関する市の窓口の一元化について伺う。

**答弁1** 医療費の無料化は、順次助成の拡大を図りながら目指してまいります。一人親子育て支援は、財源の見直しをつけた上で、早い年度に実施したいと考えております。一元化につきましても、市役所の組織改革と合わせ課題を整理し、検討を進めてまいります。

**質問2** 交通事故が多発し、今年には5名の尊い命が奪われた。非常事態宣言をしている市の対策、運転免許返納制度について特典や優待の考えはないか。

**答弁2** 返納された方が希望される場合は、運転免許証と同等の身分証明効力のある写真つき住民基本台帳カードを無料交付したいと考えております。

また、機会をとらえて交通安全協会や商店街の皆様にも問いかけをし、特典付けをお願いしていきたいと思っております。

**質問3** 乳がんと子宮がんの無料検診事業が開始される。クーポン発行等の今後の対応を伺う。

**答弁3** 重要な取り組みと認識しており、国の要綱に基づいて

対応してまいりたいと思っております。今後は国が示した該当年齢対象者を把握し、名簿やがん検診台帳作成を早急に行い、クーポン券や検診手帳の発行に向けた整備を進めてまいりたいと考えております。受診率は、県平均を上回って増加傾向であります。引き続き受診促進と早期発見、正しい健康意識の普及・啓発を図ってまいります。

## 病院問題、JRの違法取水、市役所改革

安保寿隆 議員

**質問1** ①病院問題検討会報告書の評価はどうか。②運営主体建設場所について、この間の経緯についてどう考えるか。建設場所は、市民アンケートなども考慮できないか。

**答弁1** ①圏域の将来の医療需要も勘案しまとめていただいたものであり、ご労苦に対しては敬意を表します。②建設場所は市が決めていく課題、運営主体は県が決める事ではありますが、市の望む方向をしっかりと要望してまいりたいと思っております。

**質問2** ①J.Rの違法取水について、市民団体との今後の共同

の取り組みはどうか。②水環境改善検討協議会の提言について、どう考えるか。

**答弁2** ①信濃川をよみがえらせる会、流水問題懇談会両団体とはお互いの役割や立場をしっかりと認識しながら、多くの市民の願いや要望を市政に生かし、形にしていきたいと思っております。②水利権の申請に当たって確保する河川流量は、関係者による望ましい河川環境確保に向けての取り組みを経て決まるものであると考えてます。

**質問3** ①市役所改革について、4年間で180人の職員を削減するとしているが、利潤追求の企業論理とならないか。②部制の導入は高額給与の幹部職員を増やすことにならないか。

**答弁3** ①職員採用を抑制し、当面は臨時職員による人員補充となりますが、その状態が長期にわたらぬよう事務事業の見直しを進めたいと考えております。②政策能力を高め市民サービスのレベルを向上させるため、特に企画能力の向上と部門ごとの連携強化が重要なことから部制を導入したいと考えております。



松之山 くれよん教室

## ふれあいの丘分校 くれよん教室について

高橋洋一 議員

**質問1** ふれあいの丘分校、十日町小学校両保護者会は、十日町小学校改築にあたっては、ふれあいの丘分校の併設を強く要望しているが、市長はどのように要望に答えていくのか伺う。

**答弁1** 小学校と養護学校の共生の理念に基づいた7年間の特色ある教育活動の成果を踏まえ、と、十日町小学校は市、ふれあいの丘分校は県の責任で建設し、現状同様に市と県それぞれで運営することが望ましいと考えております。

**質問2** くれよん教室の存続、指導者の養成をどのように進めていくのか伺う。

**答弁2** 適切な指導者が適切に指導していただく場合には非常に改善の効果があると認識しております。発達障がいなどで言葉に問題のある子供が増えてきている状況からも、指導者の育成や相談、支援体制のあり方をしっかりと検討してまいりたいと考えております。

**質問3** 新型インフルエンザの流行に備えて市の対策について伺う。

**答弁3** 県内まん延期におきましては、新型インフルエンザ外来は、県が十日町病院と松代病院、市が国保川西診療所で開設する段取りが整いました。さらに医師会が中心になりまして、医療機関の機能分担や新型インフルエンザ外来との連携方法、医師及び看護師の派遣体制、さらに市のコールセンターでの患者振り分けに関する判断基準等のマニュアルづくりも行っております。市内発生の状況に応じた医療体制の構築に向けまして、連携を図りながら万全を期してまいりたいと考えております。

# 市長の公約について

尾身隆一 議員

**質問1** 次の事項の内容と実施時期について伺う。

①義務教育期間中の通院医療費の無料化と一人親子育て世帯への助成について。

②保育所の民営化を促進し、子育て負担の軽減について。

③高齢者世帯に対し、除排雪、生活交通の確保など生活に密着したサポートの拡充について。

④家族で介護されている世帯に対する助成金等の支援について。

⑤市の窓口でのたらい回しをなくし、ワンストップで完結できる

市民総合窓口の設置について。

**答弁1** ①通院医療費の無料化は、無駄を省き、事業を見直す

中で財源を生み出し目指していききたい。父子家庭の子育てにつきましても、財源を見通した上で出来るだけ早い年度に実施してまいりたいと思っております。

②十日町市保育所適正配置方針とあわせて民営化に取り組みで

まいります。民営化に伴う保育園運営費市負担額の軽減分につ

いては、子供の通院医療費無料化や保育料の軽減など優先順位をつけて検討してまいります。

③協働のまちづくりの一環として取り組んでおります集落安心づくり事業も推進し、高齢者が安心して生活できる環境づくりにしっかりと取り組んでまいりたいと思っております。④第4

期事業計画の中で、きめ細やかなサービス提供並びに健全な介護保険の運営を考慮しながら介

護保険料を設定しており、助成にはどのような方策があるか研究

してまいりたいと考えております。⑤市役所改革の一環といたしまして、すべての人に快適で

優しい窓口を目指し、市民総合窓口を設置してまいりたいと考えて

しております。

## 基本的政治姿勢・ 信濃川水問題を問う

藤巻 誠 議員

**質問1** 基本的な政治姿勢について。①よって立つ政治信条は何か。②問題解決に当たっての

最初で最後の判断基準は何か。③キャッチフレーズは。

**答弁1** ①市民を中心に物事を考えるべきと思っております。市民

民主主義と考えております。

②市民のためになるかどうか。将来の十日町市民のためになる

かどうかであります。③政治におきまして非常に重要なものと認識し、そのときそのときに、現状や考えから掲げてまいります。



議員管内視察

**質問2** 信濃川水問題の考え方

について。JR東日本の不正取

水に伴う、水利権取り消しなどの水問題の対応は、現在、市の

最も重要な課題である。この課題は(1)環境対策、(2)経済(金)

対策の両面から取り組まなければならぬと考えているが、市

長の考え方とこれからの具体的な対応について伺う。

**答弁2** 河川環境の改善と市の

将来を見据えた取り組みが必要であります。生態系回復の指標として、サケが遡上する流量が

あることが重要であると考えております。経済的観点からは、信濃川発電は国策として発したものであり、国の大きなエネルギー政策の中で位置づけられるべきであります。JRの水利権

は取り消されたわけで、河川法などの環境をめぐる情勢も大きく変化しました。初めて国・JR・市の三者が対等な立場で話

し合える環境が整ったと理解しております。この枠組みを大切に

しながら、交付金並びに流水占用料につきまして、地域発展

に結びつける法改正を関係国会議員のご協力を得ながらお願い

して参りたいと考えております。

## 今後の地域医療の充実

川田 一幸 議員

**質問1** 十日町圏域の医療の考え方としては、高度医療を必要と訴えてきた中で出された報告

書は、2つの病院の役割であり、圏域全体の地域医療が検討され

たものではないと思うが、その認識で良いか伺う。

**答弁1** 十日町圏域の傷病動向

や医療機関の現状等も把握した中で、将来の医療需要も勘案して

おります。

十日町病院は中核病院として

周辺病院との連携も視野に入れた内容になっておりますし、松

代病院も十日町病院との連携や

地域連携パスの整備が提言されておりますので、圏域全体の中

での両病院のあり方を示していただいたものと考えております。

**質問2** 検討結果報告後、意見は来なかったかどうか伺う。

**答弁2** 市報に検討会の報告書を掲載し意見を求めましたが、提出はございませんでした。

また検討会の資料を含む報告書の閲覧も行いましたが、閲覧

に來られた方はお一人でございました。2月に行った説明会の際には、質問等をいただきましたが、その後はご意見等はいただいております。

**質問3** 地域全体の医療の維持、充実に向けた医療環境を提供する

ための今後の方針を伺う。

**答弁3** 十日町病院は、津南町

を含む十日町圏域の中核病院であることから、ほかの病院や開業医のみなさんとの連携のもと

で、地域医療を担っていただきたいと思っております。

そのためには、医療機関の役割分担等についての話し合いも必要であり、手法や時期につき

ましては、県との協議の中で決めていければと思っております。

## インター周辺の 土地利用計画について

宮嶋正一 議員

**質問1** 上沼高規格道インター周辺土地利用計画に対する、関口市長の取り組みについて伺う。

- ① 上沼高規格道建設に関連した街づくりのビジョンについて。
- ② インター周辺土地利用計画の見直しと地権者に求めた同意書の取り扱いについて。
- ③ 現在地建設について、県との協議はどうなっているのか。
- ④ 病院と高規格道の問題は別とする考え方できた事について。
- ⑤ 協働のまちづくりを進めてきた計画が2転3転したが、地域への信頼関係の構築について。

**答弁1** ①十日町圏域唯一の高速度道路網であり、人、物、情報交流の大動脈として地域振興の切り札になるものと大きな期待をしております。市全体のまちづくりにとっても新潟県にとっても重要と考えております。②現時点で計画の見直しに言及することはまだ早いと考えております。同意書をお返しするとい

うことは、改築場所について総合的に検討された結果からと理解しております。③前市長が現在地で進めたいという話を県にされたことから、県も承知しているとは思いますがその後の協議は全く進んでおりません。④道路サイドから見ると、病院建設は道路の建設促進に追い風になると考えております。一方、病院が建設されなかった場合でも、道路の今後を決定的に左右するとは言えません。いずれにしても、市はもとより県にとりましても極めて重要な道路であります。⑤地権者や小黒沢集落、関係者の皆様にご心配をおかけしていることに改めてお詫びいたします。今後とも誠意をもって信頼関係の再構築に努めてまいります。

## 協働のまちづくり 推進指針について

小林弘樹 議員

**質問1** 協働のまちづくりは、地域に根ざした取り組みをすべき。これは3月の予算審査特別委員会でも指摘され、コンサルの委託を含め、進め方の改善を要望されていた。改善の跡が見

えないが新市長としての見解は。  
**答弁1** 地域型組織の取り組みと、地域を超えて活動するテーマ型組織の取り組みをあわせて進める必要があると考えております。推進指針は、これらを踏まえて全国の先進事例などを参考にしながら、市民との協働の中で策定されたものと考えております。その過程の中でコーディネートをお願いし、議論を重ね内容を詰めたものと伺っております。

日常業務と両立させながら、市民とともに頑張る職員には、これからもエールを送ってまいりたいと思っております。

**質問2** モデル事業は、やる気のある人達の自主性に任せるべき。行政はその支援策を検討するだけで十分。それより地域協議会や地域自治組織のあり方、市職員の地域への関わり方等に全精力を傾けるようシフトチェンジすべきではないか。

**答弁2** 社会の変動と、ライフスタイルの変化などにより、これまでの地域型組織だけで公共的な課題の解決や地域目標を達成することは難しくなってきたりします。いわゆる住民自治は地縁的な組織体制だけでは限界があるといわれておりまして、

それを打開するために、テーマ型の組織を含めた公共分野の役割分担の再編が求められております。従来の地域自治の構造を超えた、行政を含めた市民意識の変革による新しい枠組みが必要だと思っております。



地域おもてなし事業補助金「アイデア交歓会」

## 農地法・経済対策・ 核兵器廃絶について

鈴木和雄 議員

**質問1** ①今回の「農地法改正案」で地域農業が活性化するのかが。また耕作放棄地解消につながるのか。②標準小作料制度の廃止で、現在の賃借関係に及ぼす影響を伺う。

**答弁1** ①企業参入により、優良農地の需要が高まり、担い手や生産組織との競合が懸念されます。色分け作業が終了し、今後は解消対策協議会に委ねられる事になります。再生した農地は担い手・生産組織に斡旋し支援したいと考えております。

②標準小作料の廃止については、これに代わるものを設定し対処したいと思えます。貸借期間の延長については、現行どおり1年刻みの契約が可能であり影響はないものと考えられます。

**質問2** 小規模工事登録制度への登録及び発注状況は。またこの制度で50万円以下とした根拠は、業者育成の観点が大切ではないか伺う。

**答弁2** 5月末現在、195社の登録、20年度の2ヶ月分で約900万円の発注総額。

県内他市の状況や、工事内容の簡易さ、履行の確保の容易さなどを勘案し50万円に区切らせていただきました。

**質問3** オバマ米国大統領は、「核兵器廃絶」を表明し各国に協力を呼びかけた。「核兵器廃絶平和都市宣言」をしている市長として行動を起こしていただきたい。

**答弁3** 市では平成19年に核兵

器廃絶平和都市宣言を行い、今後この宣言どおりに、すべての国が速やかに核兵器を廃絶し、平和な国際社会を築くことを強く求め、平和推進活動を積極的に展開してまいりたいと考えております。

## 硬直化が進んでいる 財政問題について

阿部晃一 議員

**質問1** 一般会計はラスパイレス指数以外全て県内20市中15番目以上、全国類似団体48市中35番目以上、特に経常収支比率は全国48市中48番目。財政硬直化は明々白々。健全化対策は喫緊の課題であるが如何か。

**答弁1** 定員適正化計画等や施設の見直し等を早期に着手し、経常収支比率を含む財政指標全般について、指数改善の目標を定める中でしっかりと改善してまいりたいと考えております。

**質問2** 特別会計は、聖域だが30億円以上を一般会計から繰り入れている。基準内繰り出し金の見直しは。

**答弁2** 当初予算書だけでは不明な部分があります。決算統計という処理をした中で、その基

準がどうであったか処理しております。

**質問3** 三セクに毎年多額の委託料を計上しているが2千万円以上の赤字決算である。抜本的改革を望む。

**答弁3** 毎年3億円近い金額がつぎ込まれていることを憂慮しております。6法人の経営改善に取り組み、著しい業績悪化企業は、外部も含めた検討委員会によりしっかりと対応してまいりたいと考えております。

**質問4** 指定管理者制度は、3年間の契約期間が終了。制度の効果と新規契約の内容と管理委託料、雇用の実態について伺う。

**答弁4** 過去3ヶ年の指定管理の総括につきましては、まとまりしだい報告いたします。

21年度の委託料は、合計で3億9、108万円。市総合体育館ほか11施設の職員数は、正職8名、臨時やパートは8名、妻有焼陶芸センターは、正職1名、臨職パート2名です。

## 議会傍聴者

6月5日から12日までの6月定例会期間中に、延べ人数で130人の方が傍聴に来場されました。(傍聴者名簿記載分)



テレビ・ラジオの取材

## 議会の傍聴においでください

- 次の議会(9月定例会)は、9月3日に開会予定です。詳しい日程は議会事務局に照会してください。(☎025-757-3119・市のホームページにも掲載します。)
- 議場は市役所3階です。入口で住所・氏名を記入するだけで傍聴できます。

お気軽にお出かけください。

## 議会人事

監査委員の選任について、市長提案の3人のうち、議会より1人選出されました。

また、3つの特別委員会を置くことが決定し、それぞれの委員が指名され、正副委員長が選任されました。

### ●監査委員(議会選出)

高橋 洋一

### ■十日町・松代病院問題 特別委員会

▽県立十日町病院の早期建設と県立松代病院のあり方に関する調査研究と課題解決に当たる。

委員長 山賀 子平  
副委員長 安保 寿隆  
委員 小林 均

飯塚 茂夫  
小林 正夫  
庭野 茂美  
小野嶋 哲雄  
宮嶋 正一

### 信濃川・清津川対策 特別委員会

▽信濃川・清津川に関する諸問題の調査研究と課題解決に当たる。

委員長 山岸 角太郎  
副委員長 仲嶋 英雄  
委員 吉村 重敏

藤巻 誠  
鈴木 和雄  
羽鳥 輝子  
鈴木 一郎  
太田 祐子

### ■観光推進特別委員会

▽十日町市の観光推進に関する調査研究と課題解決に当たる。

委員長 小嶋 武夫  
副委員長 宮沢 幸子  
委員 小林 弘樹

近藤 紀夫  
尾身 隆一  
庭野 政義  
高橋 洋一  
北村 公男

# 一般会計補正予算・主な事業

〈補正第2号〉

大変厳しい地域経済や雇用情勢を打開していくため、緊急経済対策として、「雇用の確保維持対策」や「建設企業の受注確保対策」など5つの対策に、特別会計分も含め4億1,030万円の予算付けを図り、事業費の規模としては6億2,145万円となります。

人件費については、「議員の報酬条例の一部改正」及び「特別職や一般職の給与条例の一部改正」に基づく手当0.2か月分の削減により、特別会計分も含め5,694万円を減額しました。

## ○移動通信用鉄塔整備事業

(地域情報化推進室)

震災復興基金からの補助金を財源に、移動通信事業者に補助することにより、携帯電話不感地区のうち赤倉(十日町)、土倉(中里)、下山(松代)及び坪野(松之山)に携

帯電話の鉄塔が整備されます。

## ○自治総合センターコミュニティ

イ助成事業(総合政策課)

財団法人自治総合センターが宝くじの配分金を受けて実施している助成事業で、当初予算分も含め7団体のコミュニティ事業を支援します。

## ○障害者自立支援特別対策事業

(福祉課)

障害者自立支援法の円滑実施のため、国の特別対策が平成20年度末までの期限付きで行われていましたが、23年度末まで延長されたため、改めて特別対策に取り組みます。

## ○児童医療費助成事業

(健康支援課)

児童医療費助成事業の通院分について、従来「小学校に入学する前まで」の児童を対象にしていたが、9月1日から県の施策と合わせ、「小学校3年生まで」に制度の拡大を図ります。

## ○母子健康診査委託事業

(健康支援課)

妊婦健康診査の公費助成について、国の施策に合わせ1月27日からこれまでの5回を14回に拡大し、妊婦健康診査を受けた方に対し助成します。

## ○環境対策事業(環境政策室)

市は、旧娯楽会館所有者に対し、アスベスト除去工事費の請求について訴訟を起し係争中ですが、工事費の確性を第三者の専門家に依頼し確認します。

## ○雇用確保維持助成金交付事業

(雇用開発室)

中小企業緊急雇用安定助成金制度等を利用しながらも、頑張つて雇用を維持している事業所を支援するもので、一事業所につき10万円助成します。

## ○中小企業等研修支援事業

(雇用開発室)

中小企業緊急雇用安定助成

金制度等において、事業所が

従業員の教育訓練を実施する場合、事業所にとつて研修費用が負担になっているため、市が研修の場を提供して支援します。

## ○農商工連携事業

(六次産業振興室)

農・商・工が連携して特定作物の契約栽培をした場合や、農作物やその加工品などのPR・イベント事業を行う場合に助成します。

## ○特産品開発事業

(六次産業振興室)

市内の農産物加工グループが行う特産加工施設整備などに補助します。また法人化に結びつく本格的な起業活動には、補助率を上げて支援します。

## ○信用保証協会保証料補助事業

(産業振興課)

保証料の補助率について、「50%」を「75%」にアップ

した取り組みを、当初予算では9月30日までとじていましたが、来年3月31日まで延長します。

## ○市観光協会助成事業(市内二次交通重点整備事業分)

(観光交流課)

大地の芸術祭や秋の観光シーズン中においていただいた観光客に対し、十日町駅やまつだい駅と、芸術祭作品や観光ポイントを結ぶバス等の交通手段を提供することにより、旅行者満足度を上げる取り組みを行います。市観光協会を事業主体とし、JTBに事業委託し、全国に向けPRします。

## ○住宅リフォーム補助事業

(克雪維持課)

市民の居住環境の向上と市内の住宅関連産業を中心とした地域経済の活性化を促進するため、市内業者を利用して20万以上の修繕工事などを行う市民を支援するもので、補助率20%、補助限度額を10万円とし、7月1日から取り組めます。

# 6月定例会議決結果

## 市長提出議案

件名	議決結果
監査委員の選任（和久井 <sup>たくみ</sup> 工 氏）	同意
監査委員の選任（相澤 信夫 氏）	同意
監査委員の選任（高橋 洋一 氏）	同意
公平委員会委員の選任（金山 <sup>かみやま ゆうこう</sup> 有紘 氏）	同意
物品購入契約の締結（FM告知受信機）	原案可決
工事委託契約の締結（十日町市下水処理センター再構築工事委託）	原案可決
魚沼地域胃集団検診協議会規約の変更	原案可決
十日町市職員定数条例の一部を改正する条例制定	原案可決
十日町市清田山辺地総合整備計画の策定	原案可決
字の変更について	原案可決
十日町市都市公園条例の一部を改正する条例制定	原案可決
十日町市営住宅条例の一部を改正する条例制定	原案可決
十日町市特定公共賃貸住宅条例の一部を改正する条例制定	原案可決
十日町市農業集落排水処理施設条例の一部を改正する条例制定	原案可決
十日町市特定環境保全公共下水道事業受益者分担金に関する条例の一部を改正する条例制定	原案可決
十日町市児童の医療費助成に関する条例の一部を改正する条例制定	原案可決
平成21年度十日町市一般会計補正予算（第2号）	原案可決
平成21年度十日町市国民健康保険特別会計補正予算（第1号）	原案可決
平成21年度十日町市国民健康保険診療所特別会計補正予算（第1号）	原案可決
平成21年度十日町市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	原案可決
平成21年度十日町市介護保険特別会計補正予算（第1号）	原案可決
平成21年度十日町市簡易水道事業特別会計補正予算（第1号）	原案可決
平成21年度十日町市下水道事業特別会計補正予算（第1号）	原案可決
平成21年度十日町市水道事業会計補正予算（第1号）	原案可決
損害賠償の額を定めること	原案可決

## 議会提出議案

件名	議決結果
新潟県後期高齢者医療広域連合議会議員の選挙	選挙
十日町・松代病院問題特別委員会の設置	原案可決
信濃川・清津川対策特別委員会の設置	原案可決
観光推進特別委員会の設置	原案可決
十日町・松代病院問題特別委員会委員の指名	指名
信濃川・清津川対策特別委員会委員の指名	指名
観光推進特別委員会委員の指名	指名
十日町・松代病院問題特別委員会委員長及び副委員長長の選任報告	報告
信濃川・清津川対策特別委員会委員長及び副委員長長の選任報告	報告
観光推進特別委員会委員長及び副委員長長の選任報告	報告
十日町市選挙管理委員会委員及び同補充員の選挙	選挙
閉会中の継続調査の申し出	原案可決
議員派遣	原案可決
請願	
農地法の「改正」に反対する請願	不採択



十日町市下水処理センター 脱硫棟  
(汚泥より発生する有機物質の吸収施設)

審査結果

提出された議案のうち、それぞれの常任委員会に付託され審査した議案と、その結果は次のとおりです。

総務文教常任委員会

- ◆十日町市職員定数条例の一部改正

原案どおり可決しました。

産業建設常任委員会

- ◆十日町市清田山(せいだやま)辺地総合整備計画の策定字の変更
- ◆十日町市都市公園条例の一部改正
- ◆十日町市営住宅条例の一部改正
- ◆十日町市特定公共賃貸住宅条例の一部改正
- ◆十日町市農業集落排水処理施設条例の一部改正
- ◆十日町市特定環境保全公共下水道事業受益者分担金に関する条例の一部改正

いずれも原案どおり可決しました。

厚生環境常任委員会

- ◆十日町市児童の医療費助成に関する条例の一部改正

原案どおり可決しました。



産業建設常任委員会

会派 十日町市議会 通信

各会派の活動状況等を紹介するコーナーです。今回は、全会派の概要について紹介いたします。①活動方針や目的②重点的取り組み③構成員について掲載。次回以降は、各会派の活動状況等の紹介します。

政策クラブ かけはし

①活動目的

私たちは、議員個々の資質と政策立案能力の向上に努めるとともに、既成概念を打破した議会改革に取り組もうとする政策集団をめざしています。

また、市民の声や地域の思いを市政に繋げる『かけはし』になろう、という思いから名付けた会派名ですので、積極的に市民と対話する機会を設けたいと考えています。皆様のところへお伺いした際は、ぜひご協力を

- ②重点的取り組み項目

課題は整理中ですが、次の項目等に取り組み予定です。一、議員定数や議会運営(反問権の導入)等、議会改革への取り組み

二、当市がめざすべき地域医療のあり方

三、信濃川の水利利用と環境、信濃川整備計画

四、堆肥施設について(農家の為の堆肥生産、誰もが利用できる価値ある堆肥生産の手法等)

五、協働のまちづくりの進め方

六、地上デジタル化への対応

③会

- 会長 川田 一幸
- 議員 小林 弘樹
- 宮沢 幸子
- 吉村 重敏
- 藤巻 誠
- 太田 祐子
- 小野嶋 哲雄
- 宮嶋 正一

新政会

①活動方針

全市的な視点に立ち、地域事

情や特性を理解・尊重し、市民の立場に立った政策集団として次の活動を行う。

一、政策研究のための研修会と、それに必要と思われる機関及び団体等との意見交換の場としての月例会の開催

二、会員個々の専門分野のネットワークと知識の共有により、課題解決のスピードアップ化を図り、市当局への施策展開の助言及び働きかけの実施

三、優れた施策の実施や、モデル事業等に取り組む先進自治体への視察研修の実施

②重点的取り組み事項

一、現下の経済・雇用、生活不安などの諸問題への対応と、地域福祉の充実

二、行財政改革の推進と、財政健全化に向けた各歳出項目のさらなる検証の実施

三、中山間地農業の確立と生産物の付加価値の研究

四、県立十日町病院の改築にあわせた機能強化と、松代病院の充実・存続へ向けた活動

五、信濃川と清津川本来の流れを取り戻し、かつ、その流量の維持に向けた取り組み

六、学校給食の地産地消の推進

と食育教育の充実  
七、2014年問題対策として  
のほくほく線の活用化の促進

③会 長 庭野茂美  
会 員 小堺清司

北村公男  
山賀子平  
鈴木一郎  
小嶋武夫  
羽鳥輝子

## 不羈の会

### ①活動方針

市民の生命・財産・暮らしを守るために、施政方針に対し時には厳しくチェックし、時には共に調査研究をして市民の安寧秩序の向上に尽力する。

### ②重点的取り組み項目

一、硬直化している市財政の建て直しに徹底的にメスを入れる。一般会計、特別会計、第三セクター等に対してムリ、ムラ、ムダを排除し、市財政全般を強靱でスリムな体制になるよう一生懸命提言する。  
二、新しい時代を迎えようとしている農業や21世紀に通用す

るような産業を誘致或いは創設するにはどうしても人材の育成が肝要である。その為にどうするかを提言していく。

三、県下でも突出している少子高齢化問題に真剣に取り組む例として

(1)十日町市で出産したいと思ふような環境作り

(2)幼保両園の質の向上

(3)十日町市にしかない、十日町市独自の学校教育とは何かを一生懸命に探っていく。

(4)高齢者を尊敬し、高齢者の技と知恵をどうしたらうまく生かせるかを真剣に研究する。

③会 長 阿部晃一  
会 員 飯塚茂夫

高橋洋一  
庭野政義  
小林正夫  
仲嶋英雄

## 妻有クラブ

### ①活動方針

一、市民全体の代表者としての立場、会員それぞれの選挙母体や地域、組織の立場を尊重

し、自覚と責任を持ち、お互いに切磋琢磨し、和の精神を重んじ活動する。

二、財政状況が厳しさを増す中、的確に対処すべく、議員としてただ単に、市民の声の代弁をするだけの役割でなく、住民との対話、議論を重ね、今後の活力ある発展を目指す為には、時には住民に訴え、時には指導し理解いただくべく、その実現に向けて積極的に努力する。

三、行財政運営に経営感覚を多く取り入れて、効率的なシステム改革を図り、小さな市役所で大きなサービスの実現を目指したい。

以上の観点から先進地の視察、情報収集を積極的に行い、政策立案に向けて取り組んでまいります。

②重点的取り組み項目  
一、財政の健全化により弾力性を高め安心、安全な活力ある市政改革  
二、議会の積極的な改革と、更なる信頼に向けた活動  
三、農工商の連携による産業振興と雇用創出の推進  
四、十日町病院の早期着工

五、地域住民の為の、信濃川、清津川の水資源対策

③会 長 山岸角太郎  
会 員 近藤紀夫

遠田延雄  
小林均

## 日本共産党

### 十日町市議団

### ①活動方針

国の悪政が、多くの地域や住民に深刻な影響を与えています。深刻な不景気と雇用不安、正社員を減らし、派遣、請負、パートなど非正規雇用労働者の増大。社会保障の切り捨ては、介護保険料を払ってもサービス低下。高すぎる国保料、高齢者を別枠にして重い負担と給付の削減という差別医療の後期高齢者医療制度。コメを輸入しながらの減反政策、大規模農家育成や市場原理中心の農政では農業、農村の破壊など、貧困と格差の拡大が地域経済に大きな影響を与えています。

自治体行政の役割は「住民の福祉と暮らしを守る」ことであり、市議会が住民の役に立つよ

うに住民の声をまっすぐ届け、住民の要望、苦難の解決と合わせて、ムダなお金の使い方をチェックしながら、住民の気軽な相談相手として議会活動の指針としています。

### ②重点的取り組み項目

一、県立十日町病院の早期改築、松代病院の現状維持の取り組み  
二、信濃川・清津川等水問題  
三、仕事づくりへ生活密着の公事業拡大  
四、中山間地農業の振興と地域づくりの取り組み  
五、福祉・介護の充実と支援  
六、雪対策の充実と支援  
七、憲法9条を守る運動

③団 長 村山邦一  
団 員 安保寿隆

尾身隆一  
鈴木和雄

※涌井充議員は、議長のため会派に属していません。

〔4月〕

26日 ・ 市議会議員選挙

〔5月〕

13日 ・ 第2回臨時会  
・ 全員協議会  
22日 ・ 議会運営委員会  
・ 第3回臨時会  
29日 ・ 全員協議会  
・ 議会運営委員会

〔6月〕

5日～12日 ・ 平成21年第2回定例会  
5日 ・ 本会議（諸般の報告・議案審議）  
8日～10日 ・ 本会議（一般質問）  
10日 ・ 議会運営委員会  
11日 ・ 総務文教常任委員会  
・ 産業建設常任委員会  
・ 厚生環境常任委員会  
12日 ・ 本会議（常任委員長報告・追加議案審議）  
・ 全員協議会  
19日 ・ 支所管内視察  
25日 ・ 信濃川・清津川対策特別委員会

REPORT 1  
議会の映像を  
生で配信します。  
(9月議会より)

市では、老朽化による議場音響機器等の改修に伴い、映像配信システムの整備を行います。完成すると、インターネットにより、議会の様子がリアルタイムでご覧いただけます。また、閉会中であっても録画画像として、いつでもご覧いただけるようになります。

なお、過去の会議録につきましては、9月からインターネットにより閲覧することが出来ますのでご利用ください。



REPORT 2

所管事務研修・  
管内視察を  
実施しました。



上野保育園改築事業視察

今市議会選挙において誕生した初当選議員を対象に、5月19、20の2日間にわたる所管事務研修会を開催しました。本庁の所管別に、事務概要及び平成21年度の主要事業等について説明を受けました。

また、6月19日には、全議員を対象に支所の管内視察を実施しました。地域の抱える課題や主要事業の説明に加え、主な施設の視察をさせていただきました。

永年勤続表彰

去る5月27日に開催された第85回全国市議会議長会定期総会において、押木貞前議員・高橋洋一議員・桑原清一前議員が永年勤続表彰（10年以上）を受けました。また小堺議員には、全国市議会議長会評議員として活躍されたことに対し感謝状が授与されました。

10年以上表彰につきましては北信越市議会議長会からも表彰されました。



小堺議員、高橋議員、押木前議員、桑原前議員

あとがき

6月定例会が終了し、新十日町丸が羅針盤をにらみながら港外へとゆるやかに船出したように思います。

海外には経済大不況、信濃川水問題、十日町病院問題などの大波が待ち構えており、市民、議会、行政が協力し合って乗り切るべき正念場と思います。

表紙の写真は、中条笹山で毎年行われているじょうもん市のひとコマで、今年は連続10回目、国宝指定10周年です。中条・飛渡19町内が工夫した特産品とイベントなどに注目が集まり、賑わいました。

元文化庁主任文化財調査官土肥孝氏も、市長、教育長とともに来賓として参加され、国宝絶賛の秘話を披露されました。市外県外に国宝と縄文をアピールするじょうもん市は全国で最大規模の民間主導縄文イベントとして評価されています。

中条地区民と市文化財課の協働のまちづくりでもあります。9月定例会からは議会の映像がインターネットで配信されます。議場外にいても生中継で、録画で状況が把握できます。開かれた議会として大きく前進することになります。

吉村重敏